

收山
耕述
譯

初學經濟論

再版

卷三終

K110.33
12
3

K110.33

12

初學經濟論卷三

第二十三章

造り出シタル富ハ三分シ

テ、地代利潤及労働トナレ

自然カ財本及ビ労働ハ富ヲ造リ出ス爲メノ三要件ナリ第一章ヲ見ヨトハ既二人ノ知ル所ナルヲ以テ今此章ニハ此三ツノ者ヲ用井レバ必ズ之ガ報酬ヲ爲スベキ利ヲ論セン、但シ空氣ノ

牧山耕平 譯

如キ自然カニシテ、其分量ニ限りナク、且ツ富ニ
非ザル物第二章ヲ見ヨハ、措テ之ヲ問ハズ、
夫レ地代ハ、限界アルノ自然カニ酬フル所ノ者
ナリ、利潤ハ、財本ニ酬フル所ノ者ナリ、勞銀ハ、勞
動ニ酬フル所ノ者ナリ、然ラバ、一年一萬圓ヲ以
テ、鐵坑ト鎔鐵場トヲ借り、又七萬圓ヲ以テ、一個
年間ノ勞銀トシ、而シテ一年ニ造リ出ス所ノ鐵
條、一個一圓ニシテ、全數十萬個ナルトキハ、其造
リ出シタル富、十萬圓ハ三分シテ、其一萬圓ハ地
代ト爲リ、其七萬圓ハ勞銀トナリ、又其二萬圓ハ

利潤ト爲ルベキナリ、但シ、若シ財主タル者、自ラ
其職事ヲ管理スルノ任ヲ兼ヌレバ、コノ二萬圓
ノ中、又分レテ、一分ハ、其管理ノ勞ニ酬ヒ、一分ハ、
利潤トナルヘシ、

凡ソ眞實ノ利潤ハ、俗ニ利潤ト稱スル者ヨリモ
少ナシ、何トナレバ、財主ノ領有スベキ利潤ノ中、
其一分ハ、實ニ財主ノ勞動ニ酬フル勞銀ナレバ
ナリ、蓋シ財主ニ於ル精神ノ勞ハ、傭工ノ精神及
ビ筋骨ノ勞ト同シク、其報酬ヲ受クベキハ、理ノ
當サニ然ルベキ所ナリ、故ニ、其報酬ノ勞銀ヲ以

元財。本ノ利潤ノ中ニ包括シ、概シテ之ヲ利潤ト見做ス者ハ、至當ナラザルナリ、若シ自然力、財本、勞動ノ三者中、其一若シ他ノニヲ助ケザルコトアレバ、都テ產物ハ、之ヲ興起スルコトヲ得ベカラズ、故ニ此三ツノ者ハ、各相助ケテ、共ニ其報酬ヲ得ベキハ、固ヨリ其理ナリ、即チ財本ヲ費シテ、利潤ヲ得ルト、勞動ヲ致シテ、勞銀ヲ得ルト、其理相同ジキナリ、限界アル自然力、財本、及ビ勞動ノ三ツノ者ハ、皆富ナレバ、人物ヲ以テ之ト交易釋義第二ヲ見ヨ

セズバアル可カラズ、故ニ、其造リ出シタル富ヲ分チテ、各其用ニ酬フルナリ、是故ニ、造リ出シタル富ハ三分シテ、地代利潤及ビ勞銀トナルト云ス、

第二十四章

富ハ、時アリテ、之ヲ三人ニ分チ、時アリテ二人ニ分配シ、時アリテ一人全ク之ヲ領有ス、產物ヲ造リ出スガ爲メニ、土地、財本、及ビ勞動ヲ用井、而シテ此三ツノ者、各其本主アレバ、其造リ

出シタル産物ハ三分シテ各本主ノ所有トナル
 卽チ地主ハ地代ヲ得財主ハ利潤ヲ得傭工ハ勞
 銀ヲ得若シ或ハ一人ニシテ此三者ノニヲ有テ
 バ産物ハ卽チ二分スベシ譬ヘバ一人ニシテホ
 地ト財本ヲ有テバ造リ出シタル富ノ中地代ト
 利潤ハ其人ノヲ得ベクシテ勞動ヲ致シタル人
 ハ獨リ其勞銀ヲ得ルノミ或ハ勞動ヲ耕作ニ致
 ス者土地ヲ借リテ自ラ耕セバ利潤ト勞銀ハ其
 人ノヲ得ベクシテ地主ハ獨リ其地代ヲ收ルノ
 ミ或ハ地主タル者財本少シク不足ナルニヨリ

幾許ノ銀ヲ借リテ之ヲ補ヒ而シテ自ラ其地ヲ
 耕セバ地代ト勞銀ヲ得ベクシテ利潤ノ中己ガ
 出セル財本ニ係ハルモノハ之ヲ己ニ領有シ債
 主ノ銀ニ係ハルモノハ之ヲ債主ニ與フベシ又
 或ハ一人ニシテ土地財本勞動自ラ勞スルト奴
 僕ヲ用井ルトニ論ナクノ三ツノ者ヲ有テバ地
 代利潤勞銀ノ三ツノ者ハ總テ之ヲ己ニ得ベシ
 譬ヘバ菜園ノ本主タル者自ラ其財本ヲ費シ且
 ツ自ラ之ヲ耕セバ地代利潤及ビ勞銀ハ總テ之
 ヲ己ニ得ベシ詳言スレバ土地財本勞動ノ三者

ヲ以テ、造リ出シタル所ノ富ハ、總テ一人ノ所有トナル者ナリ、是故ニ富ハ時アリテ之ヲ三人ニ分テ時アリテ之ヲ二人ニ分配シ、時アリテ一人全ク之ヲ領有スト云フ、

第二十五章

地代ハ高低ハ、需要供給ハ

第一則ニ由リ、利潤勞銀ハ

多寡ハ、地代ハ高低ニ由ル、

爰ニ、頗ル多クノ貸地アリテ之ヲ需要スル者少

ナケレバ、其地代ハ低下ナルベシ、第六章ヲ見ヨ、地代低下ナレバ、即チ其產物ノ中、地代ノ爲メニ費ス所ハ、些少ナルベシ、若シ或ハ、土地ノ供給少ナクシテ、需要甚ダ多ケレバ、產物ノ中、地代ノ爲メニ費ス所、許多ナルベシ、又產物ノ中、幾分ヲ以テ利潤トシ、又幾分ヲ以テ勞銀ト定ムルハ、偏ニ土地ノ需要ト、供給ノ多寡ニ關係スベシ、是故ニ、地代ハ高低ハ、需要供給ハ、第一則ニ由リ、利潤勞銀ハ、多寡ハ、地代ハ高低ニ由ルト云フ、
釋義第十二、價格トハ、他物ヲ買ヒ取ルハキ所

ハカカリ、
物ノ價格トハ、他物ヲ買ヒ取ルベキ所ノ力、即
チ是レナリ、譬ヘバ、天鵝絨三尺ヲ以テ、羅紗六
尺、或ハ木綿九尺ヲ買ヒ取ルベケレバ、天鵝絨
ノ價格ハ、羅紗ニ二倍シ、又木綿ニ三倍ス、或ハ
茶一斤ヲ以テ、咖啡三斤ニ交易スルヲ得ベケ
レバ、茶ノ價格ハ、咖啡ニ三倍スル者ナリ、即チ
價格ハ、物ト物ト、相較ブルヲ以テ知ルヲ得
ベシ、

釋義第十三、代價トハ、貨幣ヲ以テ、物ハ價格ヲ

表スル稱ナリ、
爰ニ、物ノ價格ヲ表スル便宜ノ爲メニ、萬物ニ
通シテ用井ルベキ、一定ノ元位アリ、貨幣是レ
ナリ、即チ物貨ノ價格ヲ呼ビ做スガ爲メニ、一
般ニ用井ル所ノ者ナリ、譬ヘバ、茶一斤ノ價格
咖啡ニ三倍スト謂ハズシテ、茶一斤ノ代價ハ、
九十錢、咖啡一斤ノ代價ハ、三十錢ナリト謂フ
ガ如シ、
凡ソ物ノ價格ヲ貨幣ニテ謂ヘバ、之ヲ呼ビテ
其代價ト曰フ、

第二十六章

價格ハ一般ニ騰貴シ或ハ

一般ニ低下スルコトナシ

價格トハ既ニ述ブルガ如ク物ヲ買ヒ取ルベキ所ノカナリ今此ニ天下唯甲乙ノ二物アリトシテ説ヲ設ケンニ其價格ハ均シク相共ニ騰貴スルヲ得ベカラズ若シ甲ノ價格騰貴スレバ愈多ク乙ヲ買ヒ取り得ベキヲ必然ナリ然ルトキハ乙ヲ以テ甲ヲ買ハントスレバ愈多ク乙ヲ與ヘザル可カラズ即チ乙ハ價格ニ於テ低下セシ

者ナリ故ニ甲ノ價格騰貴スレバ乙ノ價格以テ低下スベシ或ハ乙ノ價格騰貴スレバ之ヲ以テ愈多ク甲ヲ買ヒ取り得ベキヲ必然ニシテ甲ノ價格ハ即チ低下セシナリ一物ノ價格此ノ如ク騰貴スレバ一物ハ必ズ低下スベキニ由リ總テ價格ハ均シク相共ニ騰貴スルヲ得ベカラズ既ニ二物ノ間此ノ如クナレバ凡百ノ物亦皆然ラザルヲ得ズ即チ此物品價格騰貴スレバ他ノ物品ハ必ズ低下シ又此品低下スレバ他品ハ必ズ騰貴スベシ是レ低下セシ者ハ其買ヒ取ルベ

キ力減ジ、騰貴セシ者ハ、其買ヒ取ルベキ力増シタルナリ、譬ヘバ、茶一斤ヲ以テ、咖啡三斤、或ハ砂糖四斤ヲ買フベキトキ、其彼此相對スルノ價格均シク相共ニ騰貴スルヲナシ、何トナレバ、茶ノ價格騰貴シテ、其一斤ヲ以テ、咖啡四斤、或ハ砂糖五斤ヲ買ヒ取ルニ至レバ、咖啡ト砂糖ハ、其價格ニ於テ低下シ、咖啡或ハ砂糖ヲ以テ、茶一斤ヲ買ハントスレバ、多ク之ヲ與フベケレバナリ、即チ一物ノ價格騰貴スレバ、一物ハ必ず低下スベシ、是故ニ價格ハ、一般ニ騰貴シ、或ハ一般ニ低下ス

ルヲナシト云フ、

第二十七章

代價ハ一般ニ騰貴

シ、又一般ニ低下ス、

一物ノ價格騰貴スレバ、一物ノ價格低下スベキ
 一ハ、既ニ説ク所ノ如シ、然ルニ、貨幣ノ價格貴キ
 ニ至レバ、少ナク之ヲ以テ、多ク他物ヲ買ヒ取ル
 ベシ、コ、ヲ以テ、凡物ノ代價ハ、一般ニ低下スル
 ヲ得、若シ或ハ貨幣ノ價格低キニ至レバ、其多キ
 ヲ加アルニ非ザレバ、他物ヲ買ヒ取ルヲ得ベ

カラズ、コ、ヲ以テ物ノ代價ハ一般ニ騰貴スルヲ得

今夫レ茶一斤ノ代價九十錢、咖啡一斤三十錢、砂糖一斤二十二錢半ナルトキ、其供給ノ少ナキガ爲メニ、各騰貴第六章ヲ見ヨシテ、一斤毎ニ其代價二倍シ、茶ハ一圓八十錢、咖啡ハ六十錢、砂糖ハ四十五錢トナレバ、此三品ニ對スルノ上ニテハ、貨幣ノ價格低下セシナリ、因リテ、其低下スル以前ニ買ヒ得タル代價ヲ以テ、其一斤ヲ買ヒ取ルコトヲ得ベカラズ、然ル時ニハ、以上三品ノ代價ハ、

一般ニ騰貴シタルナリ、然レモ、若シ其物ト物トヲ以テ相較ブレバ、價格ハ曾テ高低シタルニ非ズ、尚ホ前日ト同ク、一斤ノ茶ハ、依然トシテ咖啡三斤ヲ買ヒ、或ハ砂糖四斤ヲ買ヒ取ルベシ、是故ニ代價ハ一般ニ騰貴シ、又一般ニ低下スト云ス、

第二十八章

價格ハ造出ハ元費ニ基ク、

凡ソ物貨ハ需要ニ遇ハザレバ、之ヲ造リ出ス者ナカルベシ、釋義第六ヲ見ヨ、又其物貨ト同等ノ價

格アル物貨ヲ以テ、之ト交易スル人アルニ非ザレバ、之ヲ造リ出ス人モ、亦ナカルベシ、何トナレバ、物貨ヲ造リ出スニハ、常ニ多少ノ費ヲ要スルニヨリ、之ヲ製造スル者ハ、其費ヨリ低價ニテ交易スルヲ好マザレバナリ、此費ヲ名ケテ造出ノ元費ト云フ、此元費ヨリ低價ニテハ、人其物貨ヲ交易セザルガ故ニ、其物貨ノ價格ハ、必ズ其造出ノ元費ニ關カルナリ、釋義第十二ヲ見ヨ造出ノ元費トハ、限界アル自然力、心身ノ勞動及ビ財本、是レナリ、

造出ノ元費ハ、眞實ノ價格ヲ定ムベシ、眞實ノ價格トハ、元費ヲ損耗スルコトナクシテ、賣去レ得ベキ物貨ノ價格ナリ、然レモ、其市場價格ハ、眞實ノ價格ヨリ、少シク貴トカルベシ、是レ其財主タル者、利潤ヲ加ヘテ、之ヲ賣ルコト常ニシテ、利潤ナケレバ、財主ハ、産物ヲ造リ出スガ爲メニ、其財本ヲ用井ザレバナリ、
眞實ノ價格ハ、一定不變ナリト雖モ、其市場ノ價格ハ、需要供給ノ多寡ニ從ヒテ、高低スル者ニシテ、時アリテハ、眞實ノ價格ヨリ、低キコトアルベ

レ、但レ其低キヲ久シケレバ之ヲ造リ出スヲ亦減ジ第七章ヲ見ヨ既ニ減ズレバ其供給モ亦隨ヒテ減ズ因リテ其市價ハニタビ貴トカルベシ

第六章ヲ見ヨ

是故ニ價格ハ造出ノ元費ニ基クト云ス

第二十九章

賣買正當ナレバ

彼此共ニ益アリ、

凡ソ商賣ニ於テハ無智ノ人若クハ詐偽ノ術ヲ除クノ外賣買スル者一人益ヲ得テ一人益ヲ失

フ者ニ非ズ譬ヘバ英吉利ノ人鐵ヲ以テ亞米利加人ノ綿ト交易スレバ彼此共ニ利益ヲ得ベシ而シテ其鐵ト綿トノ價格ニ於テハ各相等レキモノナリ若シ然ラザレバ交易スルヲ得難シ蓋シ交易ハ有餘ヲ以テ不足ニ換フルガ爲メニシテ上ニ述ブルガ如ク英吉利人ハ鐵ニ富ミテ綿ニ乏シク亞米利加人ハ綿ニ富ミテ鐵ニ乏シキニヨリ各其需要ヲ充足ス故ニ彼此共ニ利益ヲ得ルナリ、是故ニ賣買正當ナレバ彼此共ニ益アリト云フ、

第三十章

物ト物トノ交易ハ、
開化ハ民ニ適セズ、

古昔草昧ノ世ニ在リテハ、貨幣ノ使用ナク、物ヲ以テ、物ト交易セシ者ナリ。今ニ至リテモ、猶亦野蠻ノ人民ハ、此方法ニ因リテ賣買ス、即チ其食糧餘リアレバ、之ヲ以テ弓、矢、獸皮等ノ物ニ換ス、上ノ如キ交易ハ、開化シタル人民ニ在リテハ、不便ニシテ行フベカラズ、之ヲ例スルニ、裁縫匠ハ、衣服ノ外賣ルベキモノナレ、然ルニ、若シ物ト物

トノ交易尚ホ行ハルレバ、其麵包ヲ要スルニ方リテ、譬ヘバ、外套ヲ携ヘテ、烘匠ノ家ニ至ラン、然レ、烘匠若シ外套ニ事ヲ缺カズシテ、予ハ、外套ヨリ煖爐ヲ要スと言ハシ、裁縫匠ハ、更ニ外套ヲ要スル所ノ煖爐師ヲ尋ネテ、先ヅコレト交易シ、次ニ、其煖爐ヲ以テ、烘匠ト交易セザルベカラズ、然レ、若シ不幸ニシテ、此ノ如キ煖爐師ヲ得ザレバ、更ニ復タ他ノ烘匠ヲ尋ヌルノ外、別ニ良策ナレ、若シ此ノ如クナレバ、恐ラクハ、裁縫匠ハ、烘匠ヲ尋ネ出スニ先チテ、餓死セン且ツ夫レ、外套

ノ價ニ充當スベキ麵包ハ、其量或ハ多キニ過グ
ルモ、外套ヲ裂キテ、適宜ニ交易スルヲ得ベカ
ラズ、是レ獨リ裁縫匠ト烘匠トノ間ノミナラズ、
其他凡百ノ事皆類推スベキナリ、
是故ニ、物ト物トハ交易ハ開化ノ民ニ適セズト
云フ、

第三十一章

貨幣ハ交易ノ媒ナリ

物ト物トノ交易ハ、賣買ヲ爲シ難キニヨリ、開化
ノ人民ニ在リテハ、貨幣ヲ用非ルノ緊要トハ

ナレリ、貨幣ハ、即チ交易ノ媒ナレバ、之ヲ有ツ者
ハ、何レノ賣品ヲ論ゼズレテ、皆得テ之ヲ買フベ
シ、既ニ述ブル所ノ如ク、若シ、裁縫匠ニシテ、貨幣
ヲ有チタラバ、其得ント欲スル所ノ麵包ヲ得タ
リシナラン、又、教師タル者、其長ズル所ノ法律ヲ
以テ、衣食家賃等ト交易シ、或ハ人ノ教師タル者、
其學問ヲ以テ、家賃、雜貨、衣服等ト交易スル者ハ、
皆貨幣ノ媒アルニ由リテナリ、之ヲ詳言スレバ、
教師タル者、初メ其學問ヲ賣リテ、貨幣ヲ得、次ニ
貨幣ヲ賣リテ、雜貨、衣服、薪炭、家賃等ヲ得ルナリ、

又靴匠ノ富ハ、靴履ニ在リ、初メ貨幣ノ媒ニ由リテ、其靴ヲ賣リ、次デ革、麩包、其他物品ノ爲メニ、其貨幣ヲ賣ル、凡ソ開化ノ人民ニ在リテハ、其交易スルヲ、皆此ノ如シ

是故ニ、貨幣ハ、交易ノ媒ナリト云ス。

第三十二章

貨幣ハ、價格ノ度ナリ

長短ヲ度ルニ、尺度ヲ以テシ、輕重ヲ度ルニ、權衡ヲ以テシ、時期ヲ度ルニ、年月日時ヲ以テシ、物貨ノ價格ヲ度ルニハ、貨幣ヲ以テス、是故ニ、貨幣ハ、

交易ノ媒ニシテ、兼ホテ價格ノ度ナリト定ムベシ。

若シ價格ノ度トナスベキ者アルニ非ザレバ、此物幾許ヲ以テ、彼物ト交易スルヲ得ベキヤハ、得テ言フヲ、實ニ難カルベク、又人ノ産業モ其領有スル所ノ物貨ヲ舉ゲテ、一々之ヲ言ハザレバ、其富有ノ幾許ナルヤハ、得テ知ルヲ、實ニ難カルベシ、故ニ、裁縫匠ノ外套ヲ賣ルニ方リテハ、其價格ヲ買客ニ語ルニ、貨幣ヲ以テシ、或ハ人其富有ノ額ヲ語ルモ、貨幣ヲ以テス。

是故三、貨幣ハ價格ノ度ナリト云フ、

第三十三章

正貨幣ハ物貨ニ同シ

正貨幣トハ金銀錢ニシテ、紙幣ハ正貨幣ニ非ズ、
金銀貨幣ハ凡百ノ物貨ノ如ク、齊シク是レ物貨
ナリ、且ツ金銀ハ鑄造シテ、貨幣トナスト否トニ
論ナク、齊シク是レ物貨タルヲ、猶ホ鐵鉛等ノ如
キナリ、

又貨幣ノ價格ハ、之ヲ造リ出シタル元費ニ關カ
ルコト、猶ホ物貨ノ價格ノ如シ、即チ貨幣ノ價格

ハ其金屬

金銀ノ云

ト、之ヲ鑄造スル費用ニ關カルベ
久又其金屬ノ價格ハ、之ヲ造リ出シタル元費ニ

關カルナリ、詳言スレバ、鑛山ヨリ掘リ出シ、且ツ

其汚雜物ヲ分析シタル費用ナリ、

又金銀ノ價格ハ、需要供給ニ應ジテ、高低スルヲ、

猶ホ凡百ノ物貨ノ如シ、

即チ金ノ産スルヲ多クシテ、世間之ヲ藏スル愈

饒多ナレバ、之ヲ以テ、衣服、食物等ト交易スルニ

方リテ、其多量ヲ與ヘテ、衣食ヲ得ルヲ、愈少量ナ

ルベシ、若シ或ハ、其貯藏愈減少スレバ、其少量ヲ

以テ、衣食ヲ得ル_レ、愈多量ナルベシ、
 上ニ記スル所ノ外、凡百ノ物貨中ニ行ハル、天
 法ハ、亦皆之ヲ以テ、正貨幣ヲ推スコトヲ得ベシ、
 是故ニ、正貨幣ハ、物貨ニ同ジト云ス、

第三十四章

金銀ハ、最モ善ク、

貨幣ノ用ニ適ス、

貨幣ノ用ニ充ツベキ者ハ、左ニ記スルガ如キ物
 質ニ非ザルヲ得ズ

第一、容積小ク、重量モ亦輕クシテ、且ツ價格貴

トキ物質タルベシ、若シ否ラザレバ、何人ヲ論ゼ
 ズ、日常必用ノ物貨ヲ買ヒ求ムルニ、其代價ヲ償
 フニ足ルベキ、巨額ヲ携帶スル_レヲ得ベカノズ、
 或ハ、賒銀ニテ物貨ヲ買求メ、而シテ之ヲ償フニ
 方リテハ、粗大ニシテ、且ツ重量ナル者ヲ搬致ス
 ルガ爲メニ、時刻ト勞カトヲ費サバ、ル_レヲ得ズ、
 第二、其價格、昇降ノ甚シカラザルモノヲ良ナ
 リトス、何トナレバ、其價格、常ニ變易スレバ、以テ
 他物ノ價格ヲ度ル_レ能ハザレバナリ、
 第三、其質堅固ナラザル可カラズ、若シ其質減

耗レ易キモノナレバ、其價格ハ、日々ニ幾分ヲ減少スベケレバナリ、

第四、細ニ分テ得~~キ~~キ物質ニ非ザレバ不可ナリ、否ラザレバ、些々ナル價格ノ物ヲ買フテ、之ニ易フ可カラズ、又、兌換ヲ爲スニ難カルベシ、

第五、其質、細密ナル刻印ヲ打チテ、其印ヲ保存スベキ者ニ非ザルヲ得ズ、是レ其貨幣トシテ、久シク用井ラル、ノ後ニ至リテモ、容易ク識別セラレンガ爲メナリ、

第六、又、類似セル物質ト、容易ク區別セラル、

者ニ非ザルヲ得ズ、何トナレバ、奸悪ノ徒アリテ、贋金ヲ作ルベケレバナリ、

第七、又、開化レタル國々ニ認許セラレザルヲ得ズ、何トナレバ、獨リ内國ノミナラズ、外國ニ於テ、交易ニ用井ルベキ者ナレバナリ、

金銀ハ、他ノ物質ニ較ブレ、其能ク右ノ七條ニ合スルコト、左ノ如シ、

第一、金銀ハ、容量共ニ細少ニシテ、其價格貴トシ、他ノ物質ハ、金銀ト同一ナル容量ニシテ、同一ナル價格ヲ有テル者アラズ、偶コレアルモ、其品

甚ダ乏シクシテ、以テ貨幣ヲ作ルニ足ラズ、
第二、金銀ハ、價格ノ昇降甚シカラズ、其著シク
變易セシ事ハ、凡ソ古今ノ史傳中、南亞米利加、及
ビ墨西哥ノ鑛山ヲ發見セシ時、唯一タビ之アリ
シノミ、而シテ其價格ハ、此時ニ於テスラ、一頓ニ
變易セズ、多年ヲ過ギテ後、始メテ然リシナリ、他
ノ物質ニ至リテハ、其價格ノ變易シタルノ數、十
リ、且ツ夫レ、金銀ノ一兩目ヲ掘リ出シ、之ヲ純粹
ニナシ、且ツ之ヲ鑄造スルノ費用ハ、今モ猶ホ昔
ニ異ナルヲナシ、即チ之ヲ造リ出ス所ノ元費ハ、

常ニ一定ナルニヨリ、其價格モ亦一定ナルナリ、
第二十八章ヲ見ヨ

第三、金銀ハ、其質甚ダ堅固ナリ、嘗テ埃及ニ於
テ、多年土中ニ埋リタル貨幣ヲ發見セシガ、其色
澤形式、共ニ依然トシテ舊ヲ存セリ、

第四、金銀ハ、得テ之ヲ細分スベシ、而シテ其價
格ハ、毫釐モ減ズルヲナシ、譬ヘバ、一兩目ノ金ヲ
取リテ、之ヲ細片ニ分ツトモ、其價格ハ、毫釐モ差
異ナカルベシ、他ノ物質ニ至リテハ、然ラズ、若シ
金剛石ヲ取リテ、之ヲ四分スレバ、其價格ハ、百分

ノ九十九ヲ減ズベシ、

第五、金銀ハ容易ク貨幣ニ造ルヲ得云且ツ其形體圖式トモ之ヲ久シキニ傳フベシ、

第六、又容易ク贋造スルヲ得ベカラズ縱令巧ミニ之ヲ爲ストモ之ヲ識別スルヲ亦易カルベシ例ヘバ金銀ノ手環ノ如キ他ノ金屬ヲ以テ贋造スルヲ得ベカラズ、

第七、開化シタル各國ニ於テ貨幣トシテ認ムル所ノ物質ハ金銀ノ外アルヲナシ、是故ニ金銀ハ最モ善ク貨幣ノ用ニ適スト云フ、

第三十五章

紙幣ハ價格低下シテ貨幣

ニ交換シ難キ者ハ害ナリ、

尺度ニハ必ず一定ノ長サアリ、權衡モハ必ず一定ノ重サアリ、價格ノ度モ必ず一定ノ價格ヲ有タザル可カラズ、第三十二章ヲ見ヨ、今夫レ紙幣ハ眞價格アル者ニ非ザレドモ、若シ之ヲ其發行シタル銀行ニ持シ至リ、其一圓ヲ以テ金貨一圓ニ換フルヲ得バ、即チ一圓ノ價格ヲ有ツ者ニシテ、紙幣モ亦貨幣ニ異ナルヲナク、且ツ紙幣

ハ、別ニ携帶ニ便ナルノ益アルヲ以テ、其貨幣ト交換スルヲ得ベキ、各國ニ在リテ、皆好テ之ヲ使用ス、然レモ、紙幣ニ兌換ノ道ナキ者ハ、其價、偽價ニシテ、眞價ニアラズ、何トナレバ、紙幣ノ價格ハ、之ヲ造リタル元費ニ關カル者ニ非ザレバナリ、夫レ、一圓ノ紙幣ヲ造ルニハ、其費用、僅ニ一釐ニシテ、足ルベケレドモ、其一釐以上ノ通用ヲ爲ス所以ハ、之ヲ發行シタル銀行、或ハ政府ニ在リテ、他日貨幣ヲ以テ、之ニ交換スベキ旨ヲ、約定スルニ因ル者ニシテ、其今日眞貨幣ノ幾分ニ價スル

ヲ得ル者ハ、唯、他日眞貨幣ニ代フルノ期アルヲ以テナリ、此ノ如ク、其價格ハ、專ハラ此期ニ倚係スル者ナルガユエニ、此期變スルコトアレバ、價格モ、亦從ヒテ變セザルヲ得ズ、然ルニ、此期ハ、極メテ確定ナリ難クシテ、時々變化スル者ナレバ、紙幣ノ價格モ、亦時々高低セザルヲ得ザルナリ、是故ニ兌換ノ道ナキ紙幣ハ、價格ノ度トナスニ適セズ、譬ヘバ、尺度アリテ、其長サ今日ハ三尺、明日ハ二尺五寸、又次ノ日ニハ、二尺七寸トナレバ、以テ長短ヲ度ルニ適セザルガ如シ、

若シ紙幣ヲ以テ精密ニ物ノ價格ヲ度ルヲ能ハザレバ紙幣ハ即チ交易ノ良媒ニアラズ譬ヘバ爰ニ裁縫匠アリテ金貨二十圓ニテ一個ノ外套ヲ賣ラント欲セリ然レバ交換シ難キ紙幣ニテハ二十圓ニテ賣ルヲ欲セザルベシ何トナレバ此ノ如キ紙幣ノ價格ハ日ニ變スルヲ以テ明日或ハ金貨ノ二十圓ニ對セザルコトアレバナリ若シ此時紙幣一圓ノ價格金貨五十錢ニ當レバ裁縫匠ハ其外套ヲ紙幣四十五圓ニテ賣ルベシ即チ其四十圓ハ金貨二十圓ニ等シク其餘分

ノ五圓ハ後日紙幣ノ低下セシ時ニ方リテ虧損ヲ負ハザル爲メノ預防ナリ然レバ若シ四十五圓ニテ其外套ヲ賣リタル後紙幣低下シテ四十圓トナラバ其賣リ得タル四十五圓ハ之ヲ金貨ニ換ヘテ十八圓ナルベシ四十五圓ニ四十錢ヲ乘レテ此額ヲ得然ル時ハ上ノ如ク餘分ノ五圓ヲ得タリト雖モ畢竟二圓ノ虧損ヲナセシナリ若シ或ハ此餘分ノ五圓ヲ得ザリシナラバ其外套ノ代價ハ僅ニ十六圓ニ過ギズ四十圓ニ四十錢ヲ乘ジテ此額ヲ得然ル時ハ四圓ノ虧損ヲナ

セシナリ、
 通用紙幣ノ價格、其變易スルヲ、上ニ述ブルガ如クナレバ、諸商ハ其低下ノ爲メニ虧損ヲ負ハン
 一ヲ恐レ、預メ上文ノ如ク、餘分ノ代價ヲ加ヘテ商フベシ、即チ紙幣ニテ賣ルニハ、之ヲ金貨ニ折算スルノ外、尚ホ別ニ低下ノ見込ヲ加ヘテ、其代價ヲ定ムル者ニシテ、凡テ牙行ハ、此豫價ヲ加ヘテ、之ヲ店商ニ賣リ、店商ハ、亦此豫價ヲ加ヘテ、之ヲ顧客ニ賣ルベシ、是故ニ、到底此餘分ノ代價ヲ出ス者ハ、買者ニシテ、若シ紙幣ニ交換ノ道アラ

バ、此冗費ハ、皆免カル、ヲ得ベキ者ナリ、且ツ貧民ハ、通例店商ニ就テ、物ヲ買フガ故ニ、其物轉賣ノ數ヲ經ルコト最モ多ク、而シテ轉賣毎ニ、皆此豫價ノ加ハルニヨリ、交換ノ道ナキ紙幣ノ害ヲ蒙ムルハ、小民常ニ最モ甚シトス、
 上ニ述ブルガ如キ紙幣ハ、其容量共ニ小ニシテ、且ツ巨大ナル、虚偽ノ價格ヲ有テルガ故ニ、若シ之ヲ以テ、金銀貨幣ニ換フベキト、絶エテ止メバ、其價格低下シテ、眞實ノ價格ニ平均シ、第二十八章ヲ見ヨ、縱令一圓或ハ千圓ノ紙幣ナルモ、概ネ

一釐ノ價格トナルベシ、又交換シ難キ紙幣ハ、其價格極ムテ不定ナリ、譬ヘバ、（イタリヤ）緑背弗（フランス）合衆國ノ紙面綠色ナルニヨリテ、此名アリノ如シ、價格常ニ變換シテ止マズ、而シテ其一弗ハ、金貨ニシテ三十五錢ニ至リシコアリ、又紙幣ハ、久レキニ傳フベカラズ、且ツ之ヲ細分スルヲ得ベシト雖、其印號モ磨滅シ易ク、之ヲ贋造スルニモ易シ、又紙幣ハ、之ヲ發行シタル政府ノ疆内ニ在リテノミ通用シ、若シ銀行ニテ之ヲ發行セバ、唯銀行ノ近傍ニ於テ通用スルノミ、決シテ萬國通用ノ貨幣トシテ用弗ル

ベカラザル者ナリ、是故ニ、紙幣ノ價格低下シ、貨幣ニ交換シ難キ者ハ、害アリト云ス、

第三十六章

粗惡ナル通貨ハ善良ノ通貨ヲ退ゾク

爰ニ、一國ニ於テ通用貨幣二種アレバ、其粗惡ノ者ハ、善良ノ者ヲ退ゾクベシ、現今千八百七十五年亞米利加合衆國ニ於テ、交易ノ媒タル者、即チ通用貨幣二種アリ、一ハ金貨ニシテ、一ハ緑背弗

ナリ、然ルニ、緑背弗ハ、其粗惡ノ故ヲ以テ、既ニ金貨ヲ退ケタリ、

譬ヘバ、合衆國ニ於テ、金貨ノ饒多ナリシ時、靴履ノ製造家アリテ、金貨一百弗ヲ借用セリ、而シテ今日、千八百七十五年、金貨ノ價貴トク、其一弗ヲ以テ、緑背弗ニ換フレバ、一弗十二錢トナルニ方リテ、負債者ハ、金貨ナレバ、二弗ニテ靴一對ヲ賣リ、又緑背弗ナレバ、二弗五十錢ニテ、之ヲ賣ルベシ、故ニ此時金貨ニテ、右ノ百弗ヲ償還スルニハ、其五十對ヲ要シ、緑背弗ニテ之ヲ償ヘバ、其四十

對ヲ賣リテ、事足ルベシ、然ラバ、緑背弗ヲ以テ償還スベキト、負債者ノ爲メニ利潤アリ、然レモ債主ハ、之ガ爲メニ虧損ヲ負フベシ、何トナレバ、其一百弗ハ、金貨ニシテ、率々ネ八十九弗ナレバナリ、夫レ此ノ如ク、負債者ニシテ、其債主ノ恩ニ負ク者ハ、二種ノ通貨ノ行ハル、ニ由リテ、生ズル所ノ幣害ナリ、若シ負債者、其債ヲ償フニ當リテ、粗惡ニシテ、且ツ廉下ナル通貨ヲ用井ルトモ、敢テ妨ゲナシトセバ、負債者ハ、皆粗惡ナル者ヲ以テ償フヘシ、負債者ニシテ、皆此ノ如クナセバ、善

良ノ通貨ヲ用井ル者ナク終ニハ市場復タ其一片ヲ見ルコトナキニ至ルベシ、是故ニ粗惡ナル通貨ハ善良ノ通貨ヲ退バクト云フ、

第三十七章

貸借ノ貨幣ハ

財本ニアラズ、

財本トハ節用蓄積シテ且ツ産物ヲ造リ出ス爲メニ用井ル所ノ富ナリトス、釋義第四ヲ見ヨ、貸借ノ貨幣ニ至リテハ節用蓄積シテ且ツ新タニ

財本ヲ殖シ得タル者ニアラズ、譬ヘバ銀行或ハ政府ニ於テ、一百圓ノ證券ヲ發行スルモ、是レ新タニ財本ヲ造リ出セル者ニ非ズ、若シ其證券ヲ以テ貨幣ト換フルコトヲ得ベケレバ、證券ハ貨幣ニ代ハル所ノ者ニシテ、且ツ其用タル貨幣ト相異ナルコトナシト雖、此之ヲ發行シタルハ新タニ貨幣ヲ造リ出セル者ニ非ズ、其貨幣ハ固ヨリ既ニ在ル所ノ者ニシテ、證券ヲ發行シタルハ唯、其貨幣ノ用ヲ他人ニ移轉シタルマデナリ、譬ヘバ、甲乙ノ二人アリ、甲ハ金貨一百圓ヲ有チテ、乙ヨ

リ衣食等ヲ購求シ、其一百圓ヲ與ヘンコトヲ乙ニ約スベシ、然ル時ハ、其衣食ヲ除クノ外、甲乙二人ノ間ニ在ル所ノ財本ハ、依然トシテ一百圓ナリ、而シテ甲ハ、何時ヲ論ゼズ、乙ノ講求ニ應ジテ、之ヲ與ヘザルヲ得ズ、證券モ猶ホ此ノ如シ、故ニ、證券ヲ造リタルハ、財本ヲ造リタル者ニ非ズ、是故ニ、證券ハ、唯一時ノ間、他人ヲシテ、其財本ヲ使用セシムルガ爲メニシテ、猶ホ一片ノ紙面ニ記シタル貸地券ヲ以テ、其定ノタル年月ノ間、土地ヲ使用セシムルガ如シ、

夫レ財本ヲ他人ニ借レ與ヘタルハ、之ヲ他人ニ移轉シタル者ナリ、譬ヘバ、甲一百圓ヲ保チテ、之ヲ乙ニ貸シ、乙ヨリ、他日利子ヲ加ヘテ、償還スベキ旨ノ證書ヲ取ルトキハ、甲ノ乙ニ貸シ與ヘタルハ、其貨幣ノ用ヲ、乙ニ移シタル者ニシテ、更ニ貨幣、或ハ富ヲ造リタル者ニ非ズ、若シ此ニ由リテ、財本ヲ造リタル者ナリトセバ、世上ノ富ハ、今一百圓ノ多キヲ加フベシ、何トナレバ、財本ナル者ハ、總テ富ナレバナリ、若シ貸借ノ事絶エテナカリセバ、既ニ債主ナク、

又負財者ナカルベシ、然ル時ハ、獨リ財本ヲ有テ
 ル者ニ在リテ、其爲サント欲スル所ノ事ヲ爲シ、
 且ツ其財本ヲ蓄積シ得ベキノミ、今貸借アルハ、
 無用ニ富ヲ有テル者ヨリ、之ヲ有用ニ費ス者ニ
 移轉スル者ナリ、ユエニ、貸借ハ富ヲシテ財本ト
 ナラシムルノミ、然レバ、直テニ證券ヲ以テ財本
 ト爲スハ非ナリ、何トナレバ、證券ハ、貯蓄シタル
 富ニ非ザルヲ以テナリ、
 是故ニ、貸借ハ貨幣ハ財本ニアラズト云フ、

第三十八章

金融壅塞ハ富ヲ

浪費スルニ基ク

商業上貸借絶エテ止ミ、物價俄ニ下リ、商家ハ衰
 敗シ、製造家ハ作エヲ弛メ、工人ハ勞銀低下シテ、
 且ツ多ク雇役セラレズ、又銀行ニ在リテハ、貸附
 ヲ止メ、或ハ預リ金ヲ償却シ能ハザルコトアリ、
 此ノ如キ形勢ニ至ル者ハ、其本源果シテ何ニ由
 リテ然ルヤ、今此ニ、之ヲ説述セントス、抑金融壅
 塞ニ到ルトキハ、其徵銀行ニ於テ、始メテ顯ハル
 者ナリ、故ニ、先ヅ銀行ノ景況ヲ説テ、其本源ノ

如何ヲ究ムベシ、

凡ソ銀行ハ預ケ金ヲ聚蓄シ且ツ此ヲ以テ有用ニ消費スベキ人ニ貸シ與フル者ナリ世ノ諺ニ銀行一千圓ヲ貸シ附レバ世間一人ノ傭工ヲシテ職ヲ得セシムルニ足ルト云フ

譬ヘバ一千人アリテ各一千圓ヲ以テ銀行ニ寄托センニ若シ其寄托スル所ノ年月又シケレバ銀行ハ毎株百分ノ四或ハ五ノ利子ヲ拂フベシ而シテ銀行ニテハ其預リ金ヲ以テ百分ノ八乃至十二三ノ利子ニテ貸與スベシ因リテ銀行ノ

利潤ハ其拂フベキ利子ト取ルベキ利子トノ間ニ在ル者ナリ、

又一千人ノ預リ金一百万圓アリテ鐵道ヲ造ルガ爲メニ之ヲ貸シ與フル時ハ其財本ハ既ニ鐵道トナリシナリ斯クテ鐵道ノ地位衆民ノ爲メニ大ニ利便ナルノ處ニ在レバ鐵道會社ハ物貨ノ運賃及ビ旅客ノ汽車賃ヲ領收シテ其建造ノ費額ヲ償ヒ得ベク然ルトキハ會社ハ以テ銀行ノ債ヲ償ヒ銀行ハ又以テ預ケ主ニ其金ヲ償フコトヲ得ベシ然レモ若シ鐵道ノ地位利便ナラザ

ルノ處ニ在リテ、其建造ノ後、乗客運送等、絶エテ之ナクバ、會社ハ、少シモ收額ヲ得ベカラズ、故ヲ以テ、銀行ニ債ヲ償フコトヲ得ズ、銀行モ、亦其預ケ主ニ償フコトヲ得ベカラズ、然ルトキハ、其影響、左ノ如ク、

預ケ金ヲナシタル者、疾ク銀行ニ至リテ償却ヲ促シ、銀行ハ、償却ヲナシ得ズシテ、舗店ヲ鎖シ、鐵道會社モ、亦其餘ノ金ヲ借ルヲ得ズシテ、舗店ヲ鎖シ、既ニ落成シタル鐵道ニ於テ、看護スベキ所ノ備員ハ、其雇役ヲ解カレ、又工人ハ、其他ノ鐵道

ヲ建造スルノ半ニ當リテ、其雇役ヲ解カルベシ、且ツ鐵條、汽車、及ヒ貨車等ノ需要ハ減省シ、此ニ由リテ、製造家ハ、其工人ヲ減シ、且ツ作エテ弛ムベシ、夫レ、此ノ如ク切迫スル以所ハ、必要ナラザル鐵道ヲ造リシ故ヲ以テナリ、之ヲ詳言スレバ、預リ金、一百万圓ヲ浪費シタル故ナリ、以上ノ一百万圓ヲ浪費シタル結果ニテ、其被害ヲ蒙ルル者、左ノ如ク、

其一、銀行ノ鎖店、

其二、金ヲ預ケタル者、虧損ヲ負フ、

其三、鐵道ノ工人并ニ傭員皆廢止セラレ、

其四、鐵條製造所ニ於テ其作エヲ止ム、

其五、鐵坑ヨリ掘リ出セル鐵ノ需要ハ減少ス、

其六、坑夫擔夫及ビ鐵冶ハ雇役セラレズ、

其七、廢止サレタル工人ハ前日ノ如ク雜貨、靴履等ヲ買ヒ得ズ、因リテ商賣ハ總テ

衰微ニ陥ル、

其八、以上ノ影響ニヨリ、雜貨鋪靴匠等ハ、牙行

ヨリ買辨スルヲ得ズ、

其九、以上ノ故ヲ以テ、牙行ハ物貨ノ買入ヲ止

ム、且ツ諸品ノ需要ハ盡ク相減ジ、其製造モ亦隨テ減少ス

財本一百萬圓ヲ浪費シタル結果ニテ、總テ諸業ノ被害ヲナスヲ上ノ如シ、固ヨリ此一百萬圓ノ貨幣ハ敢テ消滅シタルニアラズト雖、傭工ノ衣食ヨリ、木材、鐵條、橋梁、汽車ノ諸具等ニ至ルマデ、皆世間ノ用ヲナサズ、タゞ無益ニ費エタル者ニシテ、一百萬圓ノ貨幣ハ依然トシテ存セリト、雖、此一百萬圓ノ價格ヲ有テ、財本ハ空シク費エタル者ナリ、

以上示ス所ノ事唯其一小例ナレドモ其大ナル
 モノモ亦之ト同理ニシテ唯以上ノ如キコト幾
 件モ連結シ來リ幾千萬圓ノ金ヲ無益ニ消費ス
 ルニ過ギザルノミ若シ此ノ如クナルトキハ金
 融全ク壅塞シテ其害凡ソ所有家業ニ及ブベシ
 是故ニ金融壅塞ハ富ヲ浪費スルニ基クト云フ

第三十九章

金融壅塞ハ富ヲ造出ス
 ハハ外濟ハベキ術ナシ
 金融壅塞ハ富ヲ浪費スルニ基ク故ニ富ヲ造リ

出シ以テ之ヲ回復セザル可カラズ
 故ニ漸々富ヲ造リ出シテ之ヲ銀行ニ托シ或ハ
 銀行ニ托セザレバ自ラ産物ヲ造リ出スニ用井
 ルベシ然ル時ハ金融壅塞ノ爲メニ其雇役ヲ解
 カレタル工人ハ復々此作役ニ就クトヲ得因リ
 テ復々雜貨舖烘匠等ヨリ其需要スル所ノ物價
 ヲ買ヒ得ベシ又此等ノ商家ハ牙行ヨリ新規ノ
 買辦ヲナシ牙行ハ又其物貨ヲ製造家ニ囑托ス
 ベシ即チ諸業回復シテ富此ニ生ジ上ニ云ヘル
 ガ如キ障碍ハ絶エテ止ムベシ

是故ニ金融壅塞ハ富ヲ造出スルハ外濟スベキ
術ナシト云フ、

釋義第十四、租稅トハ政府ニテ國內ノ人民或
ハ産業ニ賦課シテ收ムル所ノ金ナリ、

釋義第十五、海關稅トハ輸入ノ物品即チ外國
ヨリ、船致シタル物貨ニ賦課スル所ノ稅銀ナ
リ、

釋義第十六、稅則トハ徵稅ハ法則ナリ、
稅則ニ二種アリ、曰ク國費稅曰ク保護稅、是レ
ナリ、國費稅ノ本旨ハ政府ノ要用ナリトスル

所ノ金額ヲ收ルニ在リ、此法則ノミ行ハル、
國ハ之ヲ自由貿易ノ國ト云ヒ、政府ハ唯、其歲
出ニ充ツル所ノ租稅ヲ收ルノ外、船致シタル
物貨ニ稅ヲ課スルコトナシ、

保護稅ハ、其國內ノ製造家ヲ勸獎シ、且ツ其造
リ出シタル物貨ヲシテ輸入物ヨリモ、低價ニ
テ賣ラシムルガ爲メニ課スル所ノ稅ナリ、蓋
シ保護トハ、其國內ノ製造家ヲ保護シテ外國
人ノ競争ニ、壓セラレザラシムルノ謂ナリ、
國費稅ハ、專ラ政府ノ爲メニシテ、保護稅ハ、其

一分ハ政府ヲ益スト雖凡首トシテ製造家ノ爲メニ設クル者ナリ

第四十章

稅則ハ專ラ國費

稅ヲ施行スベシ

保護稅ハ不正ニシテ且ツ弊害アリ今其一例ヲ舉ゲテ之ヲ證セシ譬ヘバ羅紗ヲ買ヒテ外套ヲ作ラント欲スル人アリ英吉利ノ羅紗ハ世界第一ノ良品ナルニヨリ彼レ必ズ曰ハン予英吉利ノ羅紗ヲ買ハントス其品良好ニシテ且ツ廉價

ナリト若シ夫レ自由貿易ノ行ハレタランニハ三尺ノ羅紗ハ代價一弗ニテ之ヲ買ヒ得ベシ亞米利加ノ羅紗ハ其品位劣リタル上ニ每三尺ノ價一弗五十錢ナリ然レモ我亞米利加政府ニ在リテハ其買者ヲシテ本國ノ羅紗ヲ購求セシメシガ爲メニ英吉利ノ羅紗ニハ僅ニ一弗每二輪入稅六十錢ヲ賦課セリ即チ其三尺ノ價ハ一弗六十錢ナリ因リテ買者ハ其高價ニシテ求メ難キニヨリ一弗五十錢ニテ本國ノ羅紗ヲ買フベシ斯クテ其利潤ヲ得ル者ハ何人ナルヤ特リ亞

米利加ノ製造家ニ在ルヲ見ルノミニシテ買者ハ每三尺五十錢ノ虧損ヲ蒙ムルナリ其製造家ナル者ハ員數寡少ニシテ羅紗ヲ買フ者ハ衆多ナリ故ニ全國ノ民ハ寡少ノ人ノ爲メニ巨大ノ金額ヲ抛タザルヲ得ズ保護稅ハ正シカラズシテ幣害アリト云フ所以ハ其レ之ガ爲メナリ且ツコレノミナラス諸國貿易ヲナスヤ必ず自由貿易ヲ行フベシト謂フ所以ハ更ニ又道理アリ即チ各國ニ於テ其貿易自由ナル時ハ最モ廉下ニシテ且ツ最モ善ク造リ得ベキ者ヲ造リ出

スベシ譬ハバ佛蘭西ニテハ良好ニシテ廉價ナル絹帛ヲ産出スレドモ英吉利ニテハ其地桑樹ヲ培養スルニ適セザレバ養蠶スルヲ得ズ因リテ絹帛ヲ産出スルヲ能ハズ然レモ此國ニ在リテハ良品ニシテ廉價ナル所ノ利器ヲ製造シ以テ佛蘭西ノ良好ナル絹帛ト貿易セリ若シ夫レ英佛二國各其本地ニ於テ絹帛ヲ織成シ利器ヲモ製造セザル可カラズトセバ其成果ハ如何ナルベキヤ蓋シ佛蘭西ハ極メテ粗雜ニシテ不廉ナル刃物ヲ造リ出シ又英吉利ニ於テハ甚ダ

粗雜ニシテ、不廉ナル絹帛ヲ織リ成スベシ、然ル時ハ二國ノ人、皆其害ヲ蒙ル、其利潤ヲ得ル者ハ、獨リ製造家ニアルベシ、

夫レ政府ハ、稅ヲ一人ニ課シテ、利ヲ他人ニ得セシムベキノ理ナシ、其人ヲ處スルノ道ハ、必ズ偏愛アル可カラズ、總テ吾人ハ、最モ良好ニシテ、最モ廉下ナル物品アレバ、其何地ノ産ナルヲ論ゼズ、之ヲ買フベキ權利ヲ有テリ、然レモ、自由貿易ノ行ハル、ニ非ザレバ、人此權利ヲ得ルコト能ハズ、

保護稅ノ爲メニ、說ヲ爲ス者ノ言ヲ聞クニ、保護稅ハ、本國ノ製造ヲ勸獎シ、且ツ此ニ由リテ、輸入品ヲ他國ニ仰ガズ、又其傭工ヲシテ、雇役ニ就カシムルガ爲メニ、其國ヲ利スル者ナリト云フ、然レモ、此國ノ人、彼國ノ物貨ヲ買フヲ以テ、不可ナリトスル者ハ、抑、又何ノ道理アリテ然ルヤ、今之ヲ一身ニ譬ヘテ言ハバ、其人、物ヲ隣家ニ買フベカラズト、謂フニ異ナラザルナリ、爰ニ、人アリ、其衣食、家宅、書籍、靴履、及ビ其他ノ諸物、皆、自ラ之ヲ造ラザルベカラズトセバ、其一年

ノ會計、恐ラクハ、專ラ靴履ヲ造リテ之ヲ賣リ、其得ル所ノ者ヲ以テ、衣食、書籍等ヲ買フノ勝レルニ若カザルベシ、第十章ヲ見ヨ、一國ノ事モ猶ホ此ノ如シ、諸般ノ物ヲ、悉ク自國ニテ製造センヨリ最モ善ク造リ得ベキ物貨ヲ製造シ、然ル後、其剩餘ヲ以テ、他國ノ最モ善ク造リタル物貨ト交易スベキナリ、是レ恰モ靴匠ノ靴履ヲ以テ、裁縫匠、農夫等ノ物産ニ易フルニ異ナラズ、又、保護稅ハ、工人ノ員數ヲ増スベキ効驗ナシ、其故ハ、國ノ財本ヲ増サバレバナリ、蓋シ此國ニ於

テ、一種物貨ノ保護ヲ廢セバ、外國ニテ、其物貨ヲ製造シテ、此國ニ齎ラレ至ルベシ、然ル時ハ、此國ニ於テ、其物貨ヲ造リ得ベカラズ、或ハ之ヲ造リ得ルモ、保護ヲ受シシ時ノ如ク多カラズ、故ヲ以テ、其製造ノ爲メニ、雇役セラレザル工人ハ、其職ヲ失フベシト雖モ、更ニ他ノ作工ニ從事スルヲ得ベシ、何トナレバ、彼ノ國ヨリ、齎ラレ至リタル輸入品ニ、報フルガ爲メニ、必ず他ノ物貨ヲ造リテ、此國ヨリ、輸出セザル可カラズ、然ル時ハ、コレマデ、其製造ニ備役セラレタルモノ、皆新製造ニ

從事スルヲ得レバナリ、
 高キ保護税ハ、獨リ其利潤ヲ製造家ニ與フルノ
 而シテ此利潤ハ、訟師、教師、醫師、新聞記者、雜貨
 商估、農夫等ノ如キ、製造ニ係ハラザル人々ヨリ
 與フル者ナリ、千八百七十年ニ方リ、我亞米利加
 合衆國ニ於テ、諸般ノ製造ニ從事シタル雇主、傭
 工ハ、其數合セテ二百七十萬零七千四百二十一
 人ニ過ギズ、而シテ農夫ノ數ハ、五百九十二萬二
 千四百七十一人ナリ、是故ニ、保護税ハ、衆多ノ人
 ヲ收斂シテ、寡少ノ人ヲ利スルナリ、加フルニ、若

レ諸般ノ製造家ト雖、保護税アラザルトキハ、
 其自ラ作ラザル處ノ物貨ヲ、低價ニテ買ヒ得ベ
 キニ、此税則ノ行ハル、ニ於テハ、更ニ高價ヲ出
 シテ買ハザルヲ得ズ、即チ直チニ其利潤ヲ得
 ル人モ、亦暗ニ虧損ヲ蒙ムルベシ、又保護ヲ受ケ
 タル物貨ヲ、製造スル所ノ人ハ、之ヲ保護税ナキ
 時ニ比スレバ、固ヨリ利ヲ得ルコト厚シト雖、
 其賣鬻ノ地、唯本國ノ市場ニ限リテ廣キコトヲ
 得ズ、譬ヘバ、亞米利加ノ斧斤製造家ハ、嘗テ世界
 萬國ニ斧斤ヲ賣リシガ、今日ニ至リテハ、英吉利

ト其盛ヲ競フヲ得ズ其故何トナレバ保護税ノ高キニヨリ其製造ニ用井ル所ノ物材機械及ビ勞銀等ニ至ルマデ甚ダ騰貴セシニヨリ英吉利ニ於ケルガ如ク廉價ニシテ最モ良好ナル斧斤ヲ造リ出スヲ能ハザレバナリ是故ニ外國ニ於テ其價ノ低下セシニヨリ合衆國ノ疆外ニハ一把ノ斧斤ダモ之ヲ賣ルヲ能ハズ而シテ其本國ニ於テ得ル所ノ厚利ハ之ヲ保護税ナクシテ海外ニ賣ルヲ得ルノ日ニ比スレバ多クハ却リテ相償フニ足ラズ

讀者他日食房ニ坐レテ四顧スルトキ房中ノ諸品并ニ卓上ノ器物ヲ見テ宜シク思維スベシ是レ此等ノ品ハ幾何ノ保護税ヲ課セラレシヤト即テ税則ニ照シテ之ヲ視レバ食卓ノ税ハ百分ノ四十ナリ卓布ハ百分ノ四十二ナリ皿ハ大中小トモ百分ノ四十六ナリ鍍金シタル食匙ハ百分ノ三十五ナリ食刀食叉ハ共ニ百分ノ六十分ナリ味鹽ハ百分ノ七十五ナリ煖爐ハ百分ノ四十五ナリ鍍金シタル咖啡瓶ハ百分ノ四十六ナリ磁器茶瓶ハ百分ノ三十八ナリ食鹽ハ百分ノ六

十ナリ、壁紙ハ、百分ノ四十七ナリ、窓ノ硝子板ハ、百分ノ六十ナリ、椅子ハ、百分ノ三十四ナリ、例千八百七十五年ノ稅 ○若シ國費稅ノ行ハレタラ、則ニ由ル者ナリ、ニニハ、凡ソ此等ノ輸入品ハ、其價甚ダ廉下ナルベシ、然ルトキハ、今亞米利加ニテ、用井ル所ノ財本勞動ハ、更ニ他物ヲ造リ出シテ、以上ノ諸物ニ交易シ、以テ之ヲ輸出スベシ、然レバ、財本及ビ勞動ハ、別ニ減少スルノ憂ナクシテ、日常必須ノ物貨ハ、多ク廉價ニテ、之ヲ買ヒ得ルニ至ルベシ、右ノ諸害ノ外、保護稅ヲ賦課スレバ、外國品ノ輸

入ヲ妨グルノ故アルヲ以テ、我亞米利加人ハ、略外國品ニ似タル物貨ヲ製造スルト雖、然レ、之ヲ賣ルニハ、其外國品ノ價ニ、海關稅ヲ加ヘテ算ヲ立テ、稍之レニ劣ルヲ以テ率トス、故ニ保護稅ナル者ハ、其政府ノ收額、迴カニ國費稅ニ及バズ、是ヲ以テ、此稅法ハ、到底寡少ノ人ヲシテ、大利益ヲ得セシメ、衆多ノ人ヲシテ、甚ダ高ク買ハシメテ止ムノミ、是故ニ、稅則ハ、專ラ國費稅ヲ施行スベシト云フ、
初學經濟論卷三終

以 110.33-12-3

初學經濟論

卷之三

三 再 版

初學經濟論卷三終

明治十年九月六日版權免許
同 十二年十一月再版

譯者
出版人

東京府平民

救山耕

駒込西片町十番地



發兌
書肆

小石川大門町

青山清吉

芝三島町

山中市兵衛

馬喰町

石川沼兵衛



12. 2. 29

東京府平民

